

公立高等学校配置計画案（令和2年度（2020年度）～4年度（2022年度））の概要

1 令和2年度（2020年度）～3年度（2021年度）（平成30年度（2018年度）決定）高校配置計画の変更について

課程	区分	学校名	計画変更の内容					
全日制	学級減	苫小牧総合経済 旭川商業	○令和3年度（2021年度）に、苫小牧総合経済高校は流通経済科を、旭川商業高校は情報処理科を学級減 （公表済の計画では減とする学科は検討中と表記）					
	学級減 ・ 学科転換	中標津	○令和3年度（2021年度）に、学区における学校・学科の配置状況、生徒の進路動向や地域の要望などを総合的に勘案し、学級減と併せて学科転換 （公表済の計画では減とする学科は検討中と表記） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">学科転換前</th> <th style="width: 50%;">学科転換後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商業科（1学級）</td> <td rowspan="2">総合ビジネス科 （1学級）</td> </tr> <tr> <td>事務情報科（1学級）</td> </tr> </tbody> </table>	学科転換前	学科転換後	商業科（1学級）	総合ビジネス科 （1学級）	事務情報科（1学級）
	学科転換前	学科転換後						
	商業科（1学級）	総合ビジネス科 （1学級）						
事務情報科（1学級）								
再編整備 ・ 単位制の導入	【募集停止】 伊達 ▲3 伊達緑丘 ▲4 ----- 【新設校】 （普通科単位制） +6	○令和3年度（2021年度）に、伊達市内において、今後の中卒者数の状況や学校・学科の配置状況などを勘案し、一定の学校規模を維持し、幅広い教育課程の編成・実施を図る観点から、再編により新設校を設置 また、生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう、普通科単位制を導入 （公表済の計画では伊達緑丘高校▲1学級と表記）						
地域連携特 例校の導入	羅白 （協力校：中標津）	○令和2年度（2020年度）募集学級数が1学級の場合に、教育環境の維持向上を図るため、新たに地域連携特例校を導入						
定時制	学級減 ・ 学科転換	苫小牧工業	○令和3年度（2021年度）に、学区における学校・学科の配置状況、生徒の進路動向や地域の要望などを総合的に勘案し、学級減と併せて学科転換 （公表済の計画では減とする学科は検討中と表記） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">学科転換前</th> <th style="width: 50%;">学科転換後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械科（1学級）</td> <td rowspan="2">工業技術科 （1学級）</td> </tr> <tr> <td>建築科（1学級）</td> </tr> </tbody> </table>	学科転換前	学科転換後	機械科（1学級）	工業技術科 （1学級）	建築科（1学級）
学科転換前	学科転換後							
機械科（1学級）	工業技術科 （1学級）							
建築科（1学級）								

2 令和4年度（2022年度）の高校配置計画案について

課程	区分	学校名	主な計画の内容
全日制	学級増 +5	札幌月寒 +1 札幌北陵 +1 札幌手稲 +1 札幌丘珠 +1 恵庭北 +1	○通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを総合的に勘案し、学級増
	単位制の導入	* 釧路北陽	○設置者（釧路市）の決定により、フィールド制を見直し、生徒の多様な進路に対応することができる普通科単位制を導入

（学校名の*は、市町村立高校）

3 地域連携特例校の再編整備の留保について

学校名	主な計画の内容
福島商業	○所在市町村をはじめとした地域における、高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案し、再編整備を留保